

平成29年度 山形県立山形東高等学校 学校評価書（自己評価・学校関係者評価）

- 1 学校の教育目標 創造力に富み、心豊かでたくましい人間の育成 自主的・自律的に行動できる、個性豊かな人間の育成 広い視野を持ち、国際社会に貢献できる人間の育成
- 2 本年度の重点目標 主体的・協働的な探究型学習を通じた学力の向上 進路指導の充実・キャリア教育の推進 生徒指導の推進 健康の保持・増進と環境の美化 家庭・地域社会との連携、危機管理体制の確立及び学習環境の整備
読書習慣の形成と感性教育の推進
- 3 本年度の評価 【評価基準 A達成できた Bほぼ達成できた Cあまり達成できなかった D達成できなかった】

領域	重点目標	具体的目標・評価指標	自己評価	今年度の成果と課題	次年度への改善点	学校関係者評価	学校関係者の意見・要望
学習指導	<p>【主体的・協働的な探究型学習を通じた学力の充実向上】</p> <p>1 すべての生徒の基礎学力充実のために、授業中心主義を徹底する。</p> <p>2 主体的・協働的な探究型学習のための教科指導の研究を深め、実践する。</p> <p>3 生徒の授業評価による授業改善や、研究授業を通じた授業力の向上を図る。</p> <p>4 ICT機器及び環境を整備し、効果的運用を促進する。</p> <p>【読書習慣の形成と感性教育の推進】</p> <p>5 読書を心の糧とすべく、生徒が利用しやすい読書・学習の環境を整備する。</p> <p>6 芸術鑑賞の機会を多く設け、豊かな感性を養う。</p> <p>7 探究型学習にも対応する図書館環境を整備し、その活用を援助する。</p>	<p>基礎学力の充実及び大学入試につながる探究型の学習指導を推進する。授業改善に向けて、授業の互観を年3回以上行う。毎日の家庭学習時間を、学年＋2時間以上を目標に取り組ませる。山東探究塾参加希望者40名以上をめざす。山東探究塾に係る対外的なプレゼンテーションの実施や、各種コンクール等の応募を合わせて20件以上をめざす。読書を推奨し、年間一人平均15冊以上の読書量を目指す。校内読書感想文コンクールへの積極的な応募を促し、提出率100%を目指す。教科学習及び読書のための図書館及び図書資料の利用を積極的に推進する。</p>	B	<p>各教科とも授業の互観に熱心に取り組みながら、探究型学習の観点から授業の改善に取り組んだ。</p> <p>各学年とも学習時間がやや不足し学年＋2時間以上の家庭学習時間は達成できなかった。</p> <p>読書課題提出率100%を達成し、様々な外部コンクールで優秀な成績を収めた。教科による図書館利用時間は昨年度を上回った。</p>	<p>探究科設置にあたり、各科目の教育内容を具体化するとともに、生徒の探究的な活動を推進できる授業展開や評価方法を検討していく。</p> <p>学習時間調査を踏まえた家庭学習や課題への取組みの指導と遅進者に対する手立てを行う。</p> <p>読書課題処理に関して担任の事務的負担の軽減を図り、本質的読書指導に傾注できるようにする。</p>	B	<p>少子高齢化、AIの進化、環境問題等により、社会がこれまで経験したことのない課題に直面している中で、自ら主体的に学び、課題を見つけ解決していく姿勢を育てることが大切である。探究科の設置や探究型学習の推進に期待するところが大きいし、応援している。アクティブラーニングによる授業実践について興味深く感じた。ICTを活用する技術がないと、世界においていかれてしまうので、教育現場のシステムの充実に向け、学校として更に声をあげていくべきだ。</p>
進路指導	<p>【進路指導の充実・キャリア教育の推進】</p> <p>1 各学年の進路に関わる事項や行事を考慮し、3年間を見通した進路指導を推進する。</p> <p>2 超難関大学・医学部医学科への志望実現のための各教科の指導方法や研究を更に深める。</p> <p>3 生徒が自己の在り方や生き方についての考えを深め、自己実現に向けた進路選択・決定ができるよう、キャリア教育を推進する。</p>	<p>進路指導・実践的教科指導について、本校の実情を踏まえ、グローバル化や他県・他校の状況を視野に入れながら、3年間を見通した指導内容や指導法の研究に努める。3学年当初の第一志望を実現し、現役合格率70%以上を目指す。東大・京大合格者数合わせて2桁を目指す。医学部医学科の推薦・AO入試について研究を深め、現役合格率向上を図る。キャリア教育推進のため、総合の時間の利用などを教育企画課・教務課・図書課・各学年と共に考え、また、学業面だけでなく健全な心身の発達を目指すために、保健課との連携を強める。</p>	B	<p>校内・校外研修に積極的に参加し、教員の指導力向上につながっている。また、生徒たちに対しても意欲向上を目指し、校外からの協力を得、諸活動を実践した。</p> <p>難関大学への現役合格率をいかにしてあげていくかが、継続的な課題である。</p>	<p>他分掌との連携をさらに密なものとし、生徒一人ひとりに対し、総合的な実践力と問題解決能力が身につくようにしていく。</p>	B	<p>コミュニケーション力がこれから本当に大切になる。目的は何か、何のためにするのか、自分の意見を言うことができ、他者・他文化を受け入れることのできる人を育ててほしい。</p> <p>首都圏に人口が一極集中している。地域との関わりを深め、外から見た山形を学び、卒業生が地域に戻ってくる仕組みづくりを考えてほしい。</p> <p>評価指標に対して、評価時期が対応していない。</p>
生徒指導・特別活動	<p>【生徒指導の推進】</p> <p>1 各家庭、各学年との連携を密にし、全校体制で基本的生活習慣の確立を徹底する。</p> <p>2 登下校、部活動等での安全の確保を徹底する。</p> <p>3 生徒会活動、部活動、各種行事の一層の充実を図る。</p> <p>4 社会参加活動を推進する。</p> <p>5 学校内外を問わず、いじめを許さない人間性を育み、その防止に取り組む。</p>	<p>毎月の出席率平均が99.0%以上をめざす。前期において各学年の皆出席者を明確にし、1年間皆出席者を全校生の50%をめざす。3年間の皆出席者を3学年生徒の25%をめざす。登下校時の安全を図り、交通事故ゼロを目指す。部活動等で団体5種目以上、個人種目10人以上の全国大会出場を目指す。社会参加・ボランティアを促し、各種の地域・施設情報を特定掲示板で毎月定期的に紹介し、参加しやすい体制をとる。学校内外を問わず、いじめを許さない人間性を育み、その防止に取り組む。</p>	B	<p>毎月の出席率平均99.1%、1年間皆出席者数52.3%、3年間の皆出席者数29.1%で、目標を達成した。</p> <p>各部活動が上位入賞を目指して健闘し、団体9種、個人11人が全国大会に出場した。自動車が自転車に接触した事故8件、自動車が歩行者に接触した事故1件である。(合計9件) ボランティア活動については資料提供と掲示を行い有志個人・HR・部活動で行っている。また生徒会が中心となりアフガニスタンにランドセルを送るボランティアを実施した。地区の町内会と連携し、除雪ボランティアを行っている。いじめ防止に取り組む、認知件数は5月3件(解消3件)11月3件(経過観察3件)である。</p>	<p>家庭とも十分に連携をとりながら、今後も欠席や欠課が少なくなるような指導を進めていく。やむをえず自家用車で送迎する場合でも、新築西通り及び三島神社通りから進入しないことを指導する。放課後の部活動等の終了後の速やかな下校を指導する。「えがお大作戦」アフガニスタンにランドセルを贈るために、1個につき送料約2500円必要であり、来年度実施する場合はランドセルとともに送料の一部をいただくことを検討している。いじめと疑われる事案を含め、速やかに対応する。</p>	B	<p>アフガニスタンにランドセルを送るボランティアは良いことだが、送料負担については再検討すべきである。荷姿を変えたり、送る品物や業者を変えたりといったことを考えてみてほしい。</p>
健康安全指導・環境整備	<p>【健康の保持・増進と環境の美化】</p> <p>1 心身の健康の自己管理と、その充実・向上を図る。</p> <p>2 環境の整備と、その美化に努め、奉仕的精神を涵養する。</p> <p>3 安全教育を徹底する。</p> <p>【危機管理体制の確立及び学習環境の整備】</p> <p>4 危機管理体制を整備し、災害・事故の防止に努める。</p> <p>5 公共物愛護の精神を育成し、学習環境の保全と整備を図る。</p>	<p>生徒保健委員会の「保健だより」年間5回、保健課発行の広報紙を年間10回発行して、心身の健康維持増進を図る。年18回のカウンセラー相談日を設定し、生徒・保護者との教育相談活動を充実させる。清掃徹底日(毎週月曜日)と月例大掃除の取組により、校舎内外の環境美化に努める。防災・災害対応訓練を年4回行い、危機管理意識の高揚と生活・校舎の安全を図る。</p>	B	<p>1 月末日まで「保健便り」5回、「はあと」8回発行。SC相談日は14回実施し、生徒・保護者のべ48人の利用。清掃は良好。</p> <p>災害対応訓練4回を実施した。5月に運用開始したメール送受信システムは、野球全校応援態勢の連絡・Jアラート対応・交通機関の乱れの連絡などに有効に活用された。</p> <p>予算が逼迫しており、校舎の老朽化による修繕も十分対応できないながらも、予算の有効活用で、廊下・昇降口などにワックス塗布を行った。</p>	<p>清掃・ごみ減量等の環境衛生活動を充実させる。</p> <p>Jアラートなど新たな危機に対する備えを整備する必要がある。来年度の新入生から食料備蓄を始める。今後探究科の設置によりますます教室不足への対応が求められる。限られた予算の有効活用のために、今後さらに節約に努める。</p>	B	<p>教室のロッカーは錆びており、教室の床に荷物を置かざるを得ないなど、学ぶ環境が整っていないと言いきれない。働く環境としてもベストではない。他の県立高校が、新築・建て替え等を行っている中で、もっと施設・設備の充実に力を入れるべきだ。生徒の探究活動も、最新の設備があって初めて実現できるものであり、そこに投資があって初めて実現する。</p>
家庭地域の連携	<p>【家庭・地域社会との連携】</p> <p>1 学校・家庭・地域との連携を一層深めるとともに、評価と公開を適切に行う。</p>	<p>PTA総会・研修会(公開授業を実施)の出席率70%以上を目指す。PTA会報を定期的に発行するとともに、保護者・学校評議員等の意見を聞き、経営改善に努める。</p>	B	<p>PTA関係の行事は滞りなく実施し、どの行事も70%以上の出席があった。学校評価アンケート結果も校内で報告され、課題の共有がなされた。</p>	<p>各種アンケートや行事等を通して、保護者・地域の意見をすくい上げ、家庭・地域との連携強化に努める。</p>	B	<p>地元の優れた企業にも目を向けた探究活動を行ってほしい。</p>
学校運営		<p>ゆとり創造運動を推進し、土曜講習等に伴う代休措置の取得率100%を目指す。「エコ・環境保護」を合言葉に水道、光熱費及び消耗品費等の節約に努める。</p>	C	<p>土曜講習等の代休取得率は、各学年とも100%である。</p> <p>○光熱水費対前年度比(1月末現在)</p> <p>電気 6.4%増加(427,052円の増)</p> <p>水道 4.1%増加(159,546円の増)</p> <p>ガス 21.6%減少(222,661円の減)</p> <p>全体 3.1%増加(363,737円の増)</p>	<p>今後も業務の効率化等を通し、ゆとり創造運動を推進する。</p> <p>職員及び生徒へ一層の節約に向け周知・啓発を行う。限られた予算の中であるが、今後改修等の機会をとらえて、照明のLED化やトイレの節水化への対応に努める。</p>	B	<p>光熱水費の結果というより、取組で評価して良い。電気はLED化し、電力は自由化されているので費用を減らし、教育現場の充実を図るべきである。県からの予算のみで大変であれば、保護者からお金を集めても良い。</p>

